



2025年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年6月14日

上場会社名 株式会社イタミアート 上場取引所 東
コード番号 168A URL <https://www.itamiarts.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊丹 一晃
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 河田 肇 TEL 086 (805) 4150
四半期報告書提出予定日 2024年6月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年1月期第1四半期の業績（2024年2月1日～2024年4月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期第1四半期	819	—	29	—	12	—	8	—
2024年1月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年1月期第1四半期	6.92	6.87
2024年1月期第1四半期	—	—

- (注) 1. 2024年1月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2024年1月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2025年1月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
2. 当社は、2024年4月8日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2025年1月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2025年1月期第1四半期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年1月期第1四半期	3,524	1,047	29.7
2024年1月期	2,526	421	16.7

(参考) 自己資本 2025年1月期第1四半期 1,047百万円 2024年1月期 421百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年1月期	—	—	—	—	—
2025年1月期（予想）	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年1月期の業績予想（2024年2月1日～2025年1月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	1,761	13.7	155	56.3	149	25.1	104	21.9	78.73
通期	3,509	12.8	244	26.7	240	8.8	167	9.3	119.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年1月期1Q	1,470,000株	2024年1月期	1,050,000株
② 期末自己株式数	2025年1月期1Q	－株	2024年1月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年1月期1Q	1,157,333株	2024年1月期1Q	－株

（注）当社は、2024年1月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2024年1月期第1四半期の期中平均株式数は記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2024年2月1日～2024年4月30日)における日本経済は、個人消費やインバウンド需要の拡大など社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、長期化が続いているウクライナ情勢やイスラエル・ハマス紛争、原材料・エネルギー価格の高騰や為替相場の変動を背景とした物価の高騰は継続しており、依然として経済の見通しは不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社におきましては、飲食店や小売店だけでなくイベント会場の装飾などの販促需要が、コロナ禍明けの高まりから減少することなく堅調に推移いたしました。当社におきましても、積極的なプロモーション活動やSEO対策などにより主要なサイトで流入数が堅調に推移いたしました。これらのEC販売に加え、既存法人顧客への営業活動を強化したことでまとまったロットの受注を獲得できたことや、インサイドセールスにより新規法人顧客の獲得などにも注力したことで、大口案件の受注につなげることができました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は819,646千円、営業利益は29,876千円、経常利益は12,019千円、四半期純利益は8,014千円となりました。

なお、当社はSP商材の企画・制作・販売の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(売上高)

当第1四半期累計期間の売上高は819,646千円となりました。これは主に、積極的なプロモーション活動やSEO対策に加え、法人顧客への営業強化に注力したことなどによります。

(売上原価、売上総利益)

当第1四半期累計期間の売上原価は512,798千円となりました。これは主に、原材料費、人件費、減価償却費及び印刷機の消耗品費の計上によるものです。この結果、売上総利益は306,847千円となりました。

(販売費及び一般管理費、営業利益)

当第1四半期累計期間の販売費及び一般管理費は276,971千円となりました。これは主に、人件費、荷造運賃、支払手数料及び広告宣伝費の計上によるものです。この結果、営業利益は29,876千円となりました。

(営業外収益、営業外費用、経常利益)

当第1四半期累計期間の営業外収益は10,762千円となりました。これは主に、補助金収入及び受取家賃の計上によるものです。また、当第1四半期累計期間の営業外費用は28,619千円となりました。これは主に、上場関連費用及び株式交付費の計上によるものです。この結果、経常利益は12,019千円となりました。

(特別利益、特別損失、法人税等合計、四半期純利益)

当第1四半期累計期間の特別利益及び特別損失の計上はありません。当第1四半期累計期間の法人税等合計は4,005千円となりました。これらの結果を受け、当第1四半期累計期間の四半期純利益は8,014千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べて997,315千円増加し3,524,159千円となりました。流動資産は、前事業年度末と比べて702,789千円増加し1,600,574千円、固定資産は、前事業年度末と比べて294,526千円増加し1,923,584千円となりました。

流動資産の主な増加要因は、現金及び預金が623,533千円増加したことによるものです。

固定資産の主な増加要因は、建設仮勘定が251,178千円増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末と比べて371,061千円増加し2,476,817千円となりました。流動負債は、前事業年度末と比べて220,301千円増加し1,030,881千円、固定負債は、前事業年度末と比べて150,759千円増加し1,445,935千円となりました。

流動負債の主な増加要因は、短期借入金が118,800千円、1年内返済予定の長期借入金が57,750千円それぞれ増加したことによるものです。

固定負債の主な増加要因は、長期借入金が153,724千円増加した一方、その他固定負債が3,319千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末と比べて626,254千円増加し1,047,342千円となりました。

主な要因は、株式発行による資本金309,120千円、資本剰余金309,120千円の増加、利益剰余金が四半期純利益の計上により8,014千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年1月期の業績予想につきましては、第2四半期会計期間及び第3四半期会計期間の利益構成が高くなっており、当第1四半期累計期間ではおおむね計画通りに推移しており、業績予想に変更はありません。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、作成したものです。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年1月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	449,001	1,072,534
受取手形及び売掛金	238,670	309,567
電子記録債権	4,251	3,839
商品及び製品	25,173	27,687
仕掛品	27,572	21,159
原材料及び貯蔵品	77,686	87,060
その他	75,430	78,726
流動資産合計	897,785	1,600,574
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	644,746	663,298
機械及び装置（純額）	386,280	395,535
土地	424,740	446,473
建設仮勘定	18,598	269,777
その他（純額）	52,688	48,478
有形固定資産合計	1,527,054	1,823,563
無形固定資産	25,108	23,140
投資その他の資産	76,895	76,880
固定資産合計	1,629,058	1,923,584
資産合計	2,526,843	3,524,159
負債の部		
流動負債		
買掛金	73,900	95,313
短期借入金	—	118,800
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	333,354	391,104
未払法人税等	61,301	14,244
賞与引当金	20,140	32,525
その他	221,883	278,893
流動負債合計	810,579	1,030,881
固定負債		
長期借入金	1,251,664	1,405,388
退職給付引当金	7,315	7,640
資産除去債務	20,534	20,565
その他	15,661	12,342
固定負債合計	1,295,175	1,445,935
負債合計	2,105,755	2,476,817
純資産の部		
株主資本		
資本金	150,500	459,620
資本剰余金	52,500	361,620
利益剰余金	218,087	226,102
株主資本合計	421,087	1,047,342
純資産合計	421,087	1,047,342
負債純資産合計	2,526,843	3,524,159

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)
売上高	819,646
売上原価	512,798
売上総利益	306,847
販売費及び一般管理費	276,971
営業利益	29,876
営業外収益	
受取家賃	4,120
売電収入	1,001
為替差益	867
補助金収入	4,650
その他	121
営業外収益合計	10,762
営業外費用	
支払利息	1,664
貸貸費用	874
売電費用	544
上場関連費用	17,160
株式交付費	8,283
その他	91
営業外費用合計	28,619
経常利益	12,019
税引前四半期純利益	12,019
法人税、住民税及び事業税	10,982
法人税等調整額	△6,977
法人税等合計	4,005
四半期純利益	8,014

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年4月8日付で東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。上場にあたり、2024年4月5日を払込期日とする公募による新株式420,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ309,120千円増加しております。

この結果、当第1四半期会計期間末において、資本金が459,620千円、資本剰余金が361,620千円となっております。

(セグメント情報)

当第1四半期累計期間（自 2024年2月1日 至 2024年4月30日）

当社はSP商材の企画・制作・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。